

ふちらいふ

らいふ通信

lifsea
株式会社リフシア
ホームページ
http://lifsea.co.jp
らいふ日記(スタッフブログ)
green.ap.teacup.com/lifekaigo

2012春 Vol.27

四季のうた

① 春のうた

日本には素晴らしい四季があり、それにまつわる皆さんの歌があります。今号から新シリーズで、さまざまな思い出とともに四季の歌の数々を紹介していきます。



絵/加藤芳明さん作

本造校舎と校庭の大きな桜の木を思い出します。

4) ♪春の小川はさらさらいくよ 岸のすみれやれんげの花に・・・ご存知「春の小川」。

この小川は、昭和のはじめの東京の原宿から渋谷駅近辺を流れていた野川を歌ったものだというから、隔世の感がありますね。

5) 「花」はもちろん桜。場所は、♪春のうらの隅田川・・・です。

6) うちでも、下の孫が小学生になりました。♪一年生になりました。♪一年生になつたなら・・・という歌もあります。春は大人も子供も心浮き立つ季節ですね。

7) そこで、春のうたのイントロ・クイズ(歌手名と曲名を当てて、それから、歌って下さい)

- (答え)
- ⑤ 森山直太郎「さくら(独唱)」
 - ④ 坂本冬美「夜桜お七」
 - ③ 柏原芳恵「春なのに」
 - ② 松任谷由実「春よ、来い」
 - ① キャンディーズ「春一番」

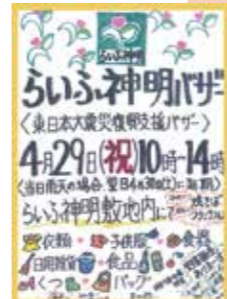
編集後記

今年春の訪れが遅かったですね。ぶちらいふ春号の発行も少し遅くなってしまいました。楽しみにしていた皆さん?ごめんさい。

井本さんの新シリーズ「四季のうた」が始まりました。加藤芳明さんのさくらの挿絵がとても合っていて、このコラムの為に描いたの?と思っ方もいらつしやるのではないのでしょうか。お二人については、ぶちらいふ9号と17号で紹介していますので、興味のある方はHPでバックナンバーをご覧ください(「リフシア」をご覧ください)で検索できます。

春号がお手元に届くころに、「らいふ神明」のバザーが開催されます。その模様は夏号でご報告いたします。

みなさんからの投稿をお待ちしています。



手作り感が楽しい「らいふ神明」バザーのお知らせ

lifsea
株式会社リフシア

らいふ萩園 デイサービス(認知症対応型・一般型) TEL 0467-89-5277
らいふ萩園 居宅介護支援センター TEL 0467-89-5277
らいふ松林 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-54-8591
らいふ神明 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0466-21-7893
らいふ柳島 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-84-1220
らいふ香川 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0467-55-2110
らいふ松が丘 デイサービス TEL 0467-53-9521
らいふ松が丘 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-53-9610

らいふ通信「ぶちらいふ」春号Vol.27
2012年4月25日(季刊発行)
編集/ぶちらいふ編集室
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL 0467-55-5102 FAX 0467-55-5103
発行/株式会社リフシア



第4回リフシア介護セミナー報告 生活の場で支えるターミナルケア

「その人らしい最期とは」

3月24日リフシア介護セミナーが茅ヶ崎市商工会議所で70名近く集めて開催されました。セミナーは昨年3月大震災で延期となった内容で、講師の鳥海房枝先生のご厚意でこの度実現することができました。



世界一の長寿国日本は急速に高齢化が進み、65歳以上の割合は6人に1人(2000年)から3人に1人(2050年)と推計されています。同時に年間死亡者数も、2015年に140万人(うち65歳以上120万人)、2025年に160万人(うち65歳以上140万人)に達すると見込まれています。

現在約8割の方が病院で最期をむかえています。今後はますます在宅や施設でのターミナルケアが重要になってきています。

また、大きな床ずれや硬縮をもつて入所された方が、その人らしい表情や生活をとり戻す過程をスライドで紹介し、死は必ず皆に来るもので隠したり特別視するものじゃない、最期をどこで迎えるかより、おむつかぶれやひどい辱創を作ってはいけない『遺体はケアの通信簿』と、ターミナルケアの意味をわかりやすく説明して下さいました。



鳥海房枝氏 (NPO法人メイアイヘルプユー理事・特別養護老人ホーム清水坂あじさい荘総合ケアアドバイザー)

を受け入れられるところまで支えるのがターミナルケアであり、その重要性について深く考えるセミナーでした。

『遺体はケアの通信簿』

日本の医療では人工呼吸器や点滴、胃瘻など手厚い医療が施されるケースが多いが、ヨーロッパでは自分で食えることが生きることに直結していて、食事の介助がない。胃瘻を作らない。イギリスでは70歳以上の人に人工透析しない。といった興味深いお話がありました。



セミナーは介護職だけでなくご家族の参加も有りました。

「遺体はケアの通信簿」と、ターミナルケアの意味をわかりやすく説明して下さいました。

参加者からは、「これほど大きな床ずれを見たのは初めて」「ケアが変わると最期はこんなに違うのか」「強い衝撃を受けた」という感想が多くありました。

介護職が共揺れしながら家族をケアし、残された家族が「死」



平成20年6月「らいふ松林」のお見送り風景

らいふ松林のリビングで皆さんが献花、お部屋を訪問してお別れをしました。人生最期の時を、家族や親しい人たちと一緒に過ごし、最期は玄関から旅立たれました。やすらかな「死」を皆で受け入れました。

【特集記事】
平成24年4月介護報酬改訂で変わる在宅支援とデイサービス

この春、リフシアのデイサービスは大きく生まれ変わりました。

―多様なプログラムと専門職による機能訓練が充実―

平成24年介護と診療報酬の同時改訂により、高齢者が要介護状態になってもできるだけ住み慣れた地域で尊厳をもって在宅生活が続けられるよう、地域包括ケアの基盤と各機能に応じたサービス提供の強化が打ち出されました。

リフシアでは、「らいふ萩園」と「らいふ松が丘」の2つのデイサービスで介護予防・重度化予防を楽しみながら目指すさまざまなプログラムを用意しました。それぞれに理学療法士や作業療法士、国家資格のマッサージ師が中心になって機能訓練を行っています。



今日は写経を練習することにしました。ひと筆ひと筆丁寧に写します。



要介護の方の体操プログラムは毎日大盛況です。もちろん要支援の方の体操も別のスペースで行われています。



1日のスケジュールは自分で決めます。誰かに押しつけられるより、お風呂に入る時間や参加したいプログラムを自分で決めるほうがやる気に繋がります。自分の時間管理も自立支援には大切です。



4月1日にオープンした「らいふ松が丘」は、随時見学を受け付けています。



車いすに乗りながらも肩の運動ができます。

最初から機能訓練を重視して開設しているため、カラオケボックス、パソコン、エアロバイク、キッチンなどこれまでのデイサービスにはない設備が充実しています。デイサービスはおしゃべりやお風呂が中心と思っていた方にはうれしいプログラムが沢山あります。

スタッフ体験中

パン教室体験では経験者が多いに腕をふるってくれました。



パソコン教室体験中です。

自分で撮りためた「らいふ萩園」の写真を展示するところ。デイサービスに通いながら7年以上撮り続けています。



意外と人気が高いのが平行棒を使った歩行訓練で、理学療法士のやさしい指導を受けながら交流の場にもなっています。



昔はゴルフ、今はデイサービスのバターゴルフに熱心しています。普段の生活ではふらつきがありますが、ゴルフ中はしっかりバランスをとっています。

らいふ歳時記 event

4月1日「らいふ神明」グループホーム新ユニットオープン祝賀会を行いました。



神明

地元より正栄会の方々がお祝いに参加下さり、開会と共にお祭りムード一色となりました！



ティアレフラグループの方々総勢27名！圧巻のステージと可愛い子どもたちに皆さん釘付けでした！

柳島



快晴、無風、絶好のお出かけ日和、中島の春めき桜のお花見です。中島桜の会の副会長さんが見えて、桜の由来などの説明をしてくださいました。



松林



お弁当を持ってピクニックにも出かけられています。ポカポカお天気の日には外で食べて気分転換。美味しいお弁当にニコリ笑顔です。

香川



イーハトーブ湘南主催で湘南わくわく公園の園芸イベントに参加しました。まだ肌寒い中、スコップで花壇を掘り、一つ一つ丁寧に花を植えました。泥んこの手をすぎ、紙コップで飲んだ温かいお茶は、とっても幸せな気分にならせてくれました。

松が丘



お台所にもスタッフと一緒に立ってくださいます。



「らいふ松が丘」小規模多機能の初日の風景です。お客様よりも職員の方が緊張しています。みなさんが集まると温かい雰囲気が心地よく感じます。オープン初日の昼食は、お祝いも兼ねてみなさんで手巻き寿司を食べました。



皆様でお花見に出かけました。「春よこい〜早くこい〜」桜の下で春を感じています。